

平成21年度
推薦入学試験問題
(生活科学科 食物栄養専攻)

注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に横書きで記入してください。
- 2 解答用紙は2枚あるので、どちらかを下書きとして使用してください。
- 3 解答用紙の提出用・下書き用はいずれも回収します。
- 4 受験票とこの問題用紙は持ち帰ってください。

課 題

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

近年、世界の穀物価格が高騰し、国によっては食糧不足が顕在化し、暴動にまで発展したところもある。

日本では、米の消費量が年々減少し続け、生産者価格は年々下落している。その結果、米の自給は行われているものの減反が進められてきた。また、1993年の凶作以来、ミニマム・アクセス（注）によって外国産の安い米が輸入されてきている。このような状況のなかで、事故米・汚染米の不正転売など、さまざまな問題が起こった。

一方、安全でおいしい米を安定的に確保するため、生産者と消費者が一体となった産直運動などが展開され、食をめぐる環境や教育への関心が高まってきている。2005年から食育基本法が施行され、食育が全国的に推進されてきている。

問 今後の日本における米の生産と消費について、以下の語を用いて、あなたの考えを800字以内で述べなさい。解答に際しては、すべての語句を使用しなくてもよい。

価格 給食 食育 食の洋風化 食料自給率 水稲耕作 日本型食生活 パン

（注）ミニマム・アクセス：最低輸入数量。1994年、日本は国際交渉（ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉）において、毎年米の輸入義務を受け入れることを約束した。その結果、1995年以降、米を輸入している。